

【イベント名】
ロシア、モンゴル、カザフスタンとの内視鏡研修報告会

【期日】 2020.02.20

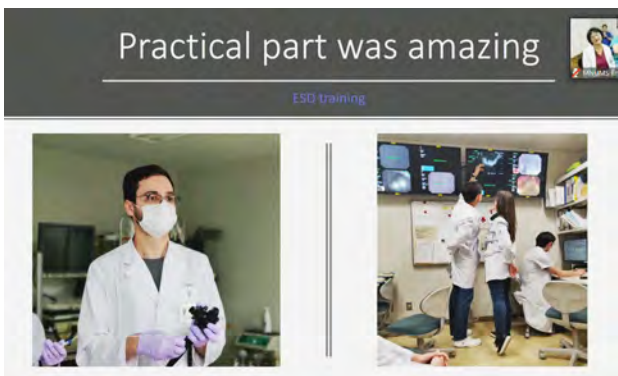
【会場】
九州大学病院（日本）、極東連邦大学医療センター（ロシア）、ロシア鉄道中央第一病院（ロシア）、ヤロスラヴリ地域癌病院（ロシア）、パブロダル地域腫瘍センター（カザフスタン）、カザフスタン国立腫瘍研究センター（カザフスタン）、モンゴル国立医科学大学（モンゴル）

【概要】
5名の医師が日本での1か月にわたる内視鏡研修の経験を報告した。全員が九州大学病院の内視鏡部門がいに組織として質が高いか言及し、早期胃がん、家族性腺腫性ポリポシス、食道平滑筋腫に対するLECSのような興味深い症例の発表を行った。その後ディスカッションでは全体的に肯定的な意見で、今後の遠隔会議への参加を希望する声が多かった。問題は、英語を話さない医師がいるため通訳が必要であることと、音質が悪い施設があったことである。



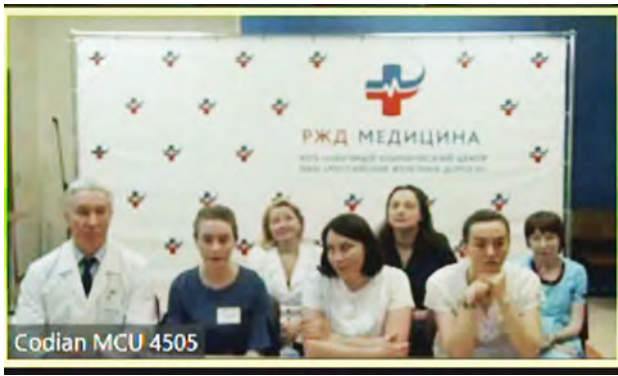
九州大学病院の様子。
撮影場所：九州大学病院

モニタに映し出される接続施設。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院

提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



ロシア鉄道中央第一病院の様子。
撮影場所：九州大学病院

研修報告を行うDr. Gantuuya（左）。
撮影場所：九州大学病院